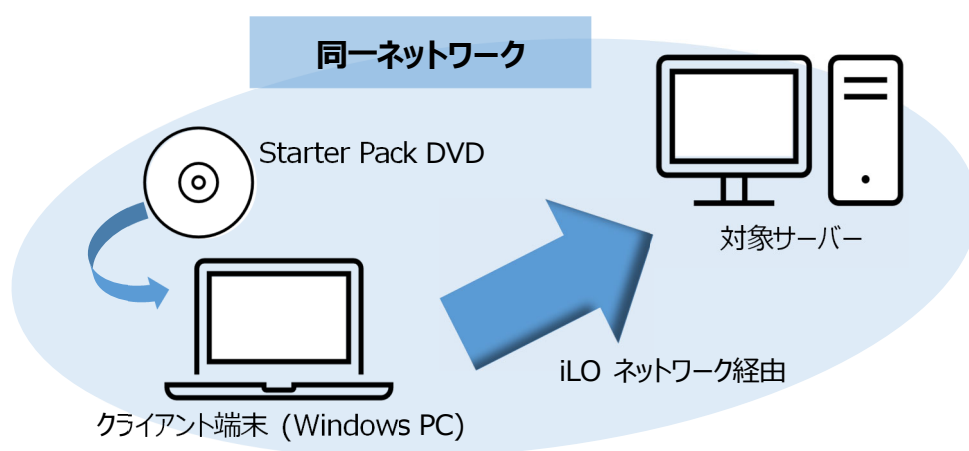


# Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順

本書では、ネットワークを経由してファームウェアをアップデートする手順について説明します。

Windows OS をインストールしたクライアント端末上で Starter Pack DVD を使って、iLO ネットワーク経由で対象サーバーのファームウェアをアップデートする方法です。



## 1. 事前準備

- システムユーティリティから、「TPM Visibility」の設定を [Hidden] に設定します。  
POST 時に<F9>キーを押して起動するシステムユーティリティから設定してください。

**System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility > [Hidden]**



「TPM Visibility」がグレースアウトされている場合は、「Microsoft(R) Secured-core Support」を [Disabled] に設定してください。詳細は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。

- 対象サーバーの iLO ネットワークとクライアント端末を同一ネットワークに接続します。  
iLO ネットワークの IP アドレスの設定方法は、「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。

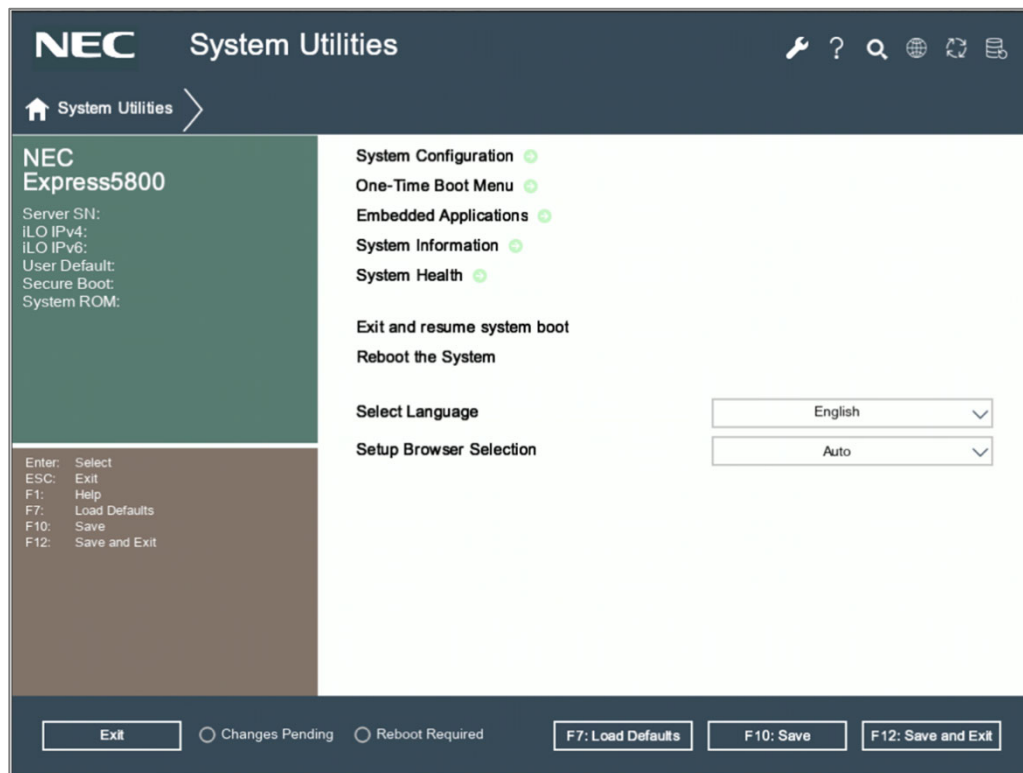
本書では、次の静的 IP アドレスでネットワーク接続したときの手順で説明します。

対象サーバー (iLO ネットワーク)		クライアント端末	
DHCP Enable	: OFF	DHCP	: 次のIPアドレスを使う
IP Address	: 192.168.1.1	IPアドレス	: 192.168.1.2
Subnet Mask	: 255.255.255.0	サブネット マスク	: 255.255.255.0
Gateway IP Address	: 0.0.0.0	デフォルト ゲートウェイ	: なし

## 2. ファームウェアアップデート

### (a) 対象サーバーでの操作

1. クライアント端末と同一ネットワークに対象サーバーを接続する。
2. 対象サーバーの電源を ON にして、POST 時に<F9>キーを押し、システムユーティリティを起動する。  
ファームウェアアップデートが完了するまで、このまま待機してください。

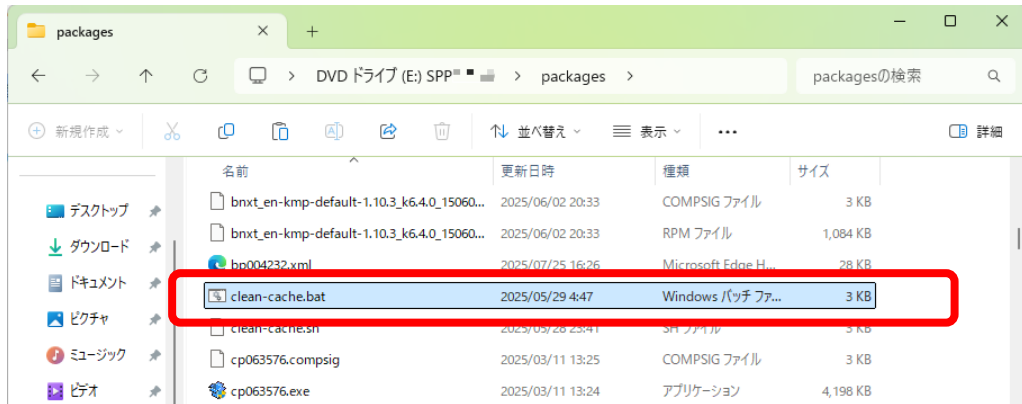


対象サーバーの電源が OFF のときは、一部のファームウェアのアップデートに失敗することがあります。  
対象サーバーに OS をインストールしておく必要はありません。

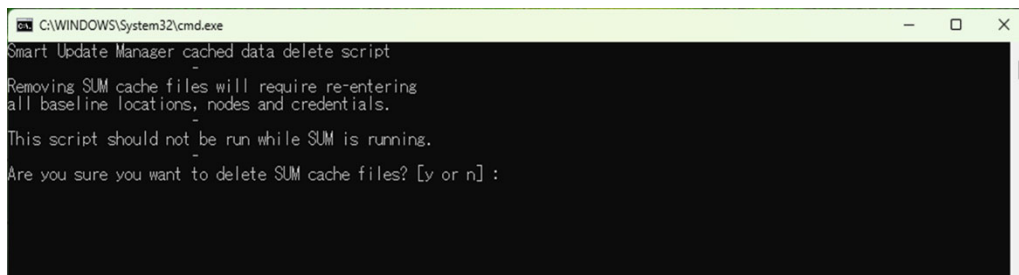
## (b) クライアント端末での操作

1. クライアント端末に Administrator 権限のあるアカウントでサインインし、Starter Pack DVD をセットします。
2. Starter Pack DVD のフォルダーを開き、次のファイルを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。

<Starter Pack DVD>:¥packages¥clean-cache.bat



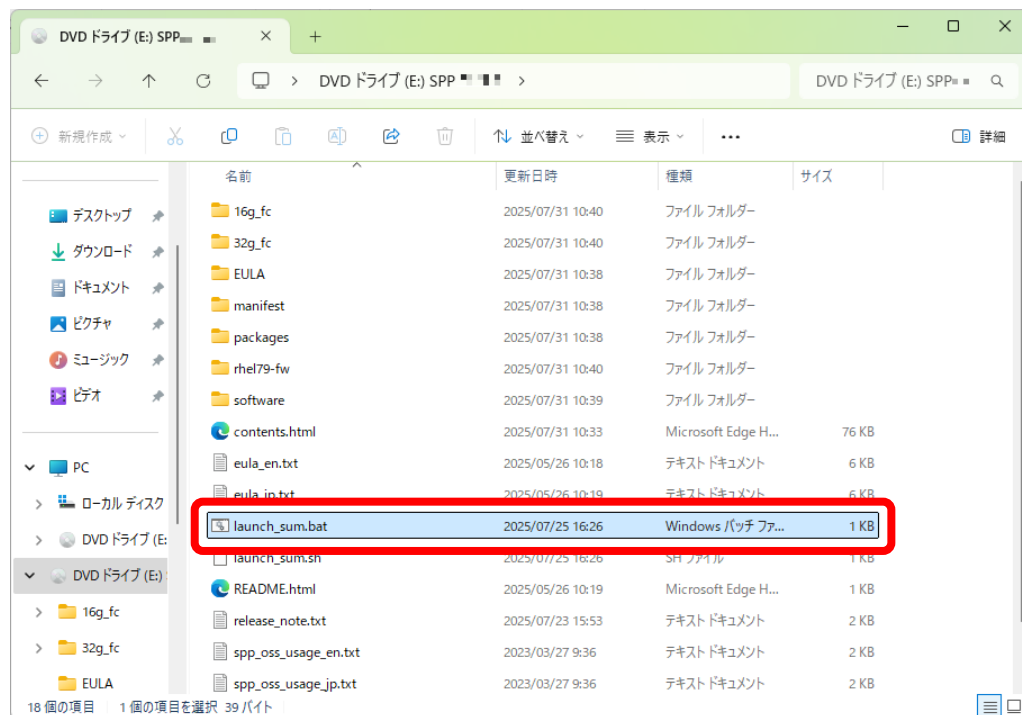
3. 次の画面では、「y」を入力し、<Enter> キーを押します。



以降は画面のメッセージに従って設定し、コマンドプロンプトを終了します。

4. 次のファイルを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。

<Starter Pack DVD>:¥launch\_sum.bat



5. Web ブラウザが起動したあとに、次の画面が表示される場合があります。  
画面が表示されない場合は、次の手順へ進んでください。



【画面が表示された場合】

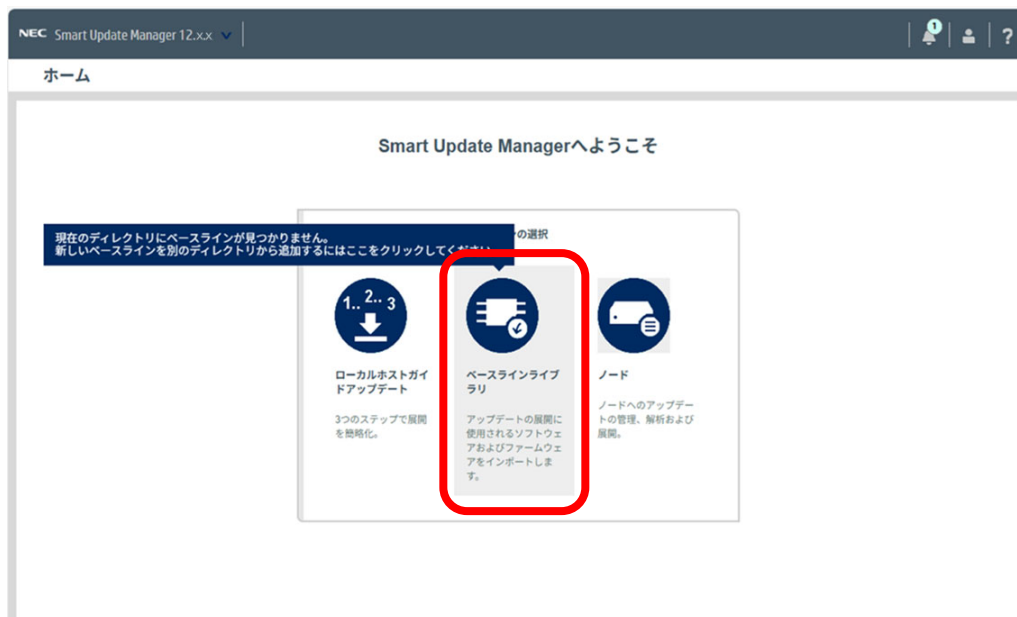
- ① [詳細設定]をクリックします。



- ② [localhost に進む (安全ではありません)] をクリックします。



6. [ベースラインライブラリ]をクリックします。



7. ベースラインライブラリの画面が表示されます。

☐ 「ベースラインが正常に追加されました」と表示された場合

→ 手順 11 へ進みます。



☐ 「インベントリの進行中」と表示された場合

→ 処理が完了するまで、しばらくお待ちください。

「ベースラインが正常に追加されました」と表示された後、手順 11 へ進みます。



☐ 「ベースラインライブラリなし」と表示された場合

→ 手順 8 へ進みます。



8. [ベースラインを追加]をクリックします。
9. 「ロケーションの詳細」の「ディレクトリパスを入力」欄に、「<Starter Pack DVD>:¥packages」を入力し、[追加]をクリックします。

ベースラインを追加

ロケーションのタイプ

ロケーションのタイプを選択 SUMサーバーパッケージを参照

ロケーションの詳細

一覧または手動で、ベースラインのコンポーネントがある位置のディレクトリパスを入力してください。

ディレクトリパスを入力 E:\packages

追加 最初からやり直す 閉じる

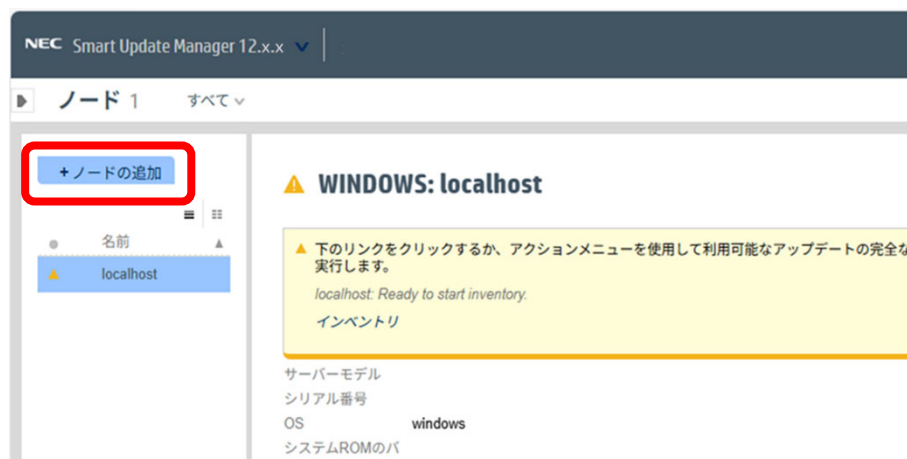
10. 「ベースラインが正常に追加されました」というメッセージが表示されていることを、確認します。



11. 画面左上の [Smart Update Manager x.x.x]のエリアをクリックし、[ノード]を選択します。



12. 左ペインから、[ノードの追加]をクリックします。



13. 次の必要項目を設定し、[追加]をクリックします。



□ ノード

説明	設定値	備考
操作の選択	単一ノードあるいは既存の範囲のノードを追加	デフォルトから変更なし
IPV4/IPV6/DNS	192.168.1.1	「対象サーバー」iLOネットワークのIP アドレスを設定
説明	iLO	iLO と入力
ノードタイプ	iLO	iLO を選択

□ 適用するベースライン

説明	設定値	備考
ベースライン	Standard Program Package xx.xx.xx at <格納先>	適用する Standard Program Package を選択



**認証情報**

管理者の認証情報を入力して、iLOリカバリインストールセットをアップデートすることはできません。  
注記: iLOドライバのインストール時に、iLOリカバリインストールセットをアップデートすることはできません。

ユーザー名 Administrator

パスワード \*\*\*\*\*

**追加** 最初からやり直す 閉じる

☐ **認証情報**

説明	設定値	備考
ユーザー名	<iLO のログインユーザー名>	
パスワード	<iLO のログインパスワード>	

14. 「インベントリ」をクリックします。

NEC Smart Update Manager 12.0.0

ノード 2 すべて

+ノードの追加

名前

192.168.1.1

localhost

**iLO 7: 192.168.1.1**

下のリンクをクリックするか、アクションメニューを使用して利用可能なアップデートの完全なリストを取得することによって実行します。

192.168.1.1: Ready to start inventory

**インベントリ**

iLOタイプ iLO 7

Warning: The selected Smart Update Package was not running selected to install via an iLO install set that require install run unless ISUT or Smart Update Manager are run.

15. 「インベントリ」をクリックします。

**インベントリ**

全般

IPv4 / IPv6 / DNS 192.168.1.1

前提条件のインストールオプション

☒ 前提条件コンポーネントがまだインストールされていない場合はインストールします

警告: インベントリプロセス中に、すべてのデバイスのFWバージョンを正しくリストするために、いくつかの前提条件のコンポーネントをインストールする必要があります。前提条件のコンポーネント(ネットワークインターフェイスオプションドライバなどをインストールすると、プロセス中にネットワークまたはシステムがリセットされ、システムが停止する場合があります。

適用するベースライン

このノードに適用する追加およびインベントリ済みのベースラインおよびまたは追加パッケージを選択してください。選択されたベースラインのコンポーネントが、ノードからの情報を収集するために使用されます。

現在選択されているベースライン Standard Program Package 12.x.x.x at E:\packages X

現在の追加パッケージ

インベントリで使用するベースラインを選択してください。

ベースライン Standard Program Package 12.x.x.x at E:\packages X

追加パッケージ

**インベントリ** キャンセル

手順 13 で適用するベースラインを設定していないときは、「ベースライン」に適用する Standard Program Package を設定します。

16. 「レビューおよびアップデートの展開」をクリックします。



17. 画面下にスクロールしたあとに、適用するファームウェアを選択し、[展開]をクリックします。




18. 「インストールが終了しました。」と表示されたら、[View Log]をクリックします。  
ファームウェアの適用結果を確認します。



19. コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認し、[閉じる]をクリックします。



20. 画面右上の[ (セッション)]をクリックし、[ログアウト]を選択します。

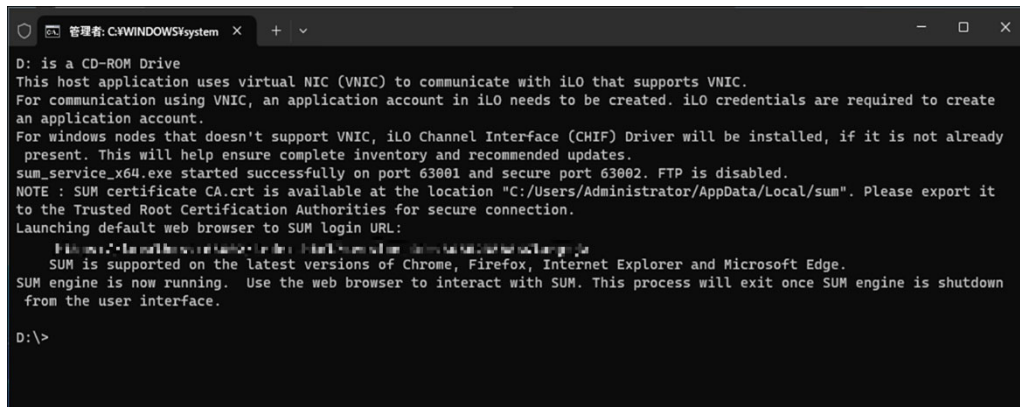


21. 「シャットダウン」にチェックを入れ、[OK]をクリックします。



Web ブラウザを閉じます。

22. クライアント端末上に表示されているコマンドプロンプトを閉じます。



```
管理者: C:\WINDOWS\system
D: is a CD-ROM Drive
This host application uses virtual NIC (VNIC) to communicate with iLO that supports VNIC.
For communication using VNIC, an application account in iLO needs to be created. iLO credentials are required to create
an application account.
For windows nodes that doesn't support VNIC, iLO Channel Interface (CHIF) Driver will be installed, if it is not already
present. This will help ensure complete inventory and recommended updates.
sum_service_x64.exe started successfully on port 63001 and secure port 63002. FTP is disabled.
NOTE : SUM certificate CA.crt is available at the location "C:/Users/Administrator/AppData/Local/sum". Please export it
to the Trusted Root Certification Authorities for secure connection.
Launching default web browser to SUM login URL:
https://10.10.10.10:63002/sum/login
SUM is supported on the latest versions of Chrome, Firefox, Internet Explorer and Microsoft Edge.
SUM engine is now running. Use the web browser to interact with SUM. This process will exit once SUM engine is shutdown
from the user interface.

D:\>
```

23. 対象サーバーを再起動します。

24. 本書の「1. 事前準備」で TPM を無効にしたときは、同様の手順で有効へ戻します。

以上で、ファームウェアのアップデートは完了です。